学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
地理歴史	日本史Ａ	２	３	なし

使用教科書	副読本等
第一学習社　　日本史Ａ	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
必要があれば、その都度連絡		○				○		

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書とプリントを中心に授業を行います。
ＤＶＤや写真パネル等も使って、具体的なイメージを持ってもらうようにします。
一方的に話しを聞くだけでなく、歴史から学ぶという主体的な態度で、授業に取り組むようにして下さい。
授業プリントの提出や教科書を持参してるかのチェックは定期的に行います。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２．学習の到達目標

日本の歴史の展開を、近現代史を中心に世界史的視野に立って国際環境と関連付けて考察する。これにより歴史的思考力をやしない、国際社会の平和に貢献する自覚と資質を養う。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：資料活用の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的現象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や脚気を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・授業ノート ・観察等	・授業ノート ・観察等 ・定期考査 ・確認テスト	・演習プリント ・観察等 ・定期考査	・定期考査 ・授業プリント ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	第１部　世界と日本 第１章近代国家と社会の形成 第１節世界と東アジア 第２節近代国家の誕生 第３節近代社会の形成	東アジア世界の転換 開国 明治維新 国境の画定 明治政府の諸改革 自由民権運動 大日本帝国憲法 文明開化	○	○	○	○	a.明治維新前後の状況を世界史的視野で関心を持っている。 b、開国から維新を経て近代国家が形成される過程について多面的・多角的に考察出来る。 c、開国から維新を経て近代国家が形成される過程の資料を読み取れる。 d、開国から維新を経て近代国家が形成される過程について多面的・多角的に理解し、知識を身に付けている。	確認テスト 授業プリント 観察等
5月 下旬 ～ 7月	第２章二つの戦争と大日本帝国憲法 第１節日清戦争と日露戦争 第２節帝国形成期の社会 第３章帝国とデモクラシー 第１節大正デモクラシー 第２節ヴェルサイユ体制とロシア革命	日清戦争 日露戦争から韓国併合 「日本国民」の誕生 日露戦後の社会 社会問題から社会運動へ 大正デモクラシーの広がり 第一次世界大戦下の社会 日本の植民地	○	○	○	○	a，日清・日露戦争、大正デモクラシー、第一次世界大戦に関して関心を持つ。 b，日清・日露戦争、大正デモクラシー、第一次世界大戦に関すて考察する。 c，日清・日露戦争、大正デモクラシー、第一次世界大戦に関する諸資料を考察出来る。 d，日清・日露戦争、大正デモクラシー、第一次世界大戦に関する事を理解し知識を持つ。	確認テスト 授業プリント 観察等
8月 下旬 ～ 10月 上旬	第４章デモクラシーの展開と帝国の変容 第１節都市化と市民文化 第２節東アジアの情勢と恐慌 第５章アジアの戦争と第二次世界大戦 第１節日中15年戦争 第２節アジア太平洋戦争	アジアのなかのモダニズム 大日本帝国の選択肢 昭和恐慌 満州事変 日中戦争 アジア太平洋戦争 戦時下の社会と抵抗 大東亜共栄圏	○	○	○	○	a満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開に対する関心を持つ。 b、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開に関するを考察をする。 c、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開に関心する諸資料を考察する。 d、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開を理解しその知識を身に付けている。	確認テスト 授業プリント 観察等
10月 中旬 ～ 12月	第６章現代日本の源流 第１節戦後世界と日本 第2節冷戦と日米安保体制	日本占領 国民主権と日本国憲法 民主主義とアメリカ化 朝鮮戦争 サンフランシスコ体制 沖縄と旧植民地 戦後の社会と文化 55年体制と安保	○	○	○	○	a、占領政策と民主化政策、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、平和運動の展開等に関心を持つ。 b、占領政策と民主化政策、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、平和運動の展開等について考察する。 c、占領政策と民主化政策、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、平和運動の展開等の諸資料について考察する。 d、占領政策と民主化政策、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、平和運動の展開等について理解しその知識を身に付ける。	確認テスト 授業プリント 観察等
1月 ～ 2月	第7章冷戦のなかの経済成長 第１節高度経済成長下の日本 第2節経済大国 第8章現代の日本 第1節転換した世界のしくみ 第2節現代日本の課題	日韓条約とヴェトナム戦争 沖縄返還日中関係 首都圏と太平洋ベルト地帯 住民運動と革新自治体 石油危機 冷戦体制の終演 グローバリゼーションの時代 21世紀の世界と日本	○	○	○	○	a、日韓条約・ヴェトナム戦争、沖縄返還・日中戦争、石油危機を経て冷戦体制の終焉等、戦後の歴史に関心を持つ。 b、日韓条約・ヴェトナム戦争、沖縄返還・日中戦争、石油危機を経て冷戦体制の終焉等、戦後の歴史を考察する。 c、日韓条約・ヴェトナム戦争、沖縄返還・日中戦争、石油危機を経て冷戦体制の終焉等、戦後の歴史に関する資料を読み取る。 d、日韓条約・ヴェトナム戦争、沖縄返還・日中戦争、石油危機を経て冷戦体制の終焉等、戦後の歴史を理解し知識を持つ。	確認テスト 授業プリント 観察等